

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では SDGs 教育を推進しています。



さいたま市立
川通小学校



開校137年目を迎える本校は、さいたま市東部を流れる水量豊かな元荒川の東岸に立地し、地域コミュニティの一つとして保護者の皆様や地域の皆様に親しまれてきた学校です。

その元荒川の恵みを求めてやって来るたくさんの小動物、校区に広がる田園地帯、そうした自然に恵まれた環境を生かした教育を進めています。また、地域の歴史と伝統に裏付けられた産業や文化を取り入れた学習、地域コミュニティに根づく人と人の関わりを生かした教育活動も本校の特色です。



■所在地：さいたま市岩槻区大野島422-1 ■電話：048-799-1060

■FAX：048-799-0424

■交通：岩槻駅東口より越谷駅西口またはしらこぼと水上公園行き下飯塚下車（朝日バス）徒歩15分

01 地域とともに歩む学校づくり



本校では、互いに認め合いよりよい学校生活について考えることができる話し合い活動の充実を力を入れています。児童会が作成する「いじめ撲滅スローガン」のもと、「えがおの木」や「あいさつ運動」に取り組むことで人権意識を育て、子ども全員が安心・安全な生活が送れる基盤づくりに取り組んでいます。6年生の卒業制作では、「木目込人形」に取り組み、地域の伝統文化に多く触れながら、自分たちの郷土を愛する心を培う学校教育を推進しています。さらに、産業については、3年生社会科では、地域で生産されているヨーロッパ野菜農家について学んだり、総合的な学習の時間では、「宮大工」「木の博物館」などを実際に見学をしたり、関わる人々の工夫の話を直接聞いたりしています。地域の一員としての自覚を高めるために、ICT等を活用して熟慮や議論をしたり、体験活動や疑似体験をしたりすることを通して子どもたちの視野を広げ、地域の活性化と郷土愛を培い、地域をよりよくする一員になっていけるようにしていきたいと考えています。



02 豊かな自然を生かした生産活動の充実



周囲を田畑に囲まれた本校は、学校ファームを所有し、ジャガイモ、サツマイモ、米、大根等、季節の野菜を各学年が栽培しています。子どもたち自身で育てて収穫した作物は、給食の食材として食べることを通して、心を耕し育てています。また、地域には、昆虫や鳥類も生息しています。

これらの自然をよりよく生かしていくためにどうすればよいか、子どもたちは、話し合い、持続可能な社会をするため、地域の一員としての自覚を育成します。

